

3 将来の変化にどう対応するの？

- (1) 「将来の変化」を想定した駅前広場整備①②
- (2) 駐車場システムによる多目的利用①②

3 将来の変化にどう対応するの？ (1) 「将来の変化」を想定した駅前広場整備

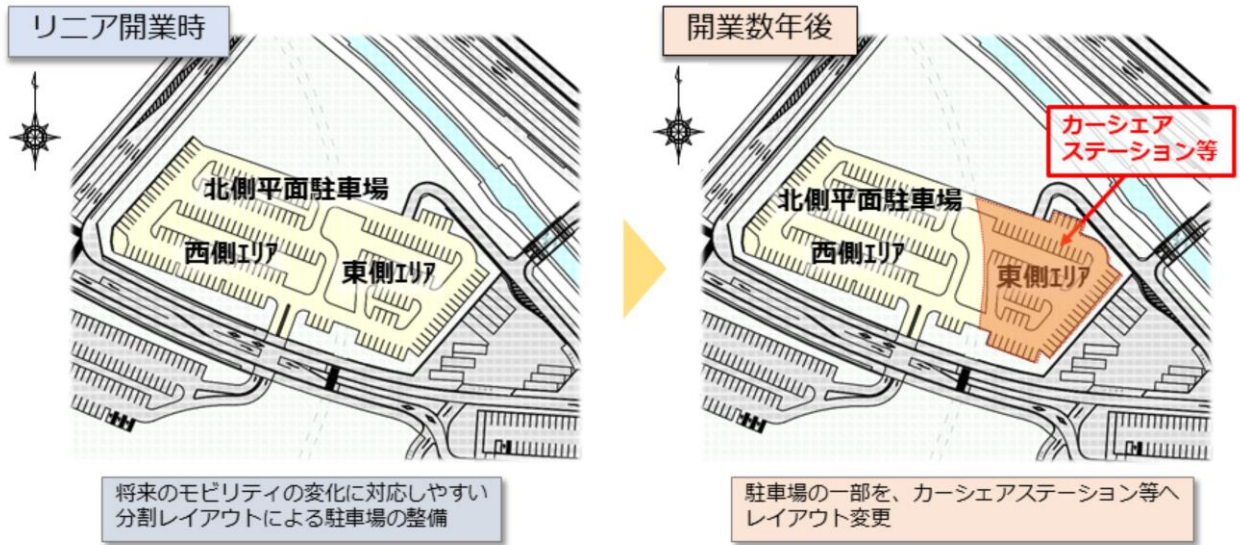
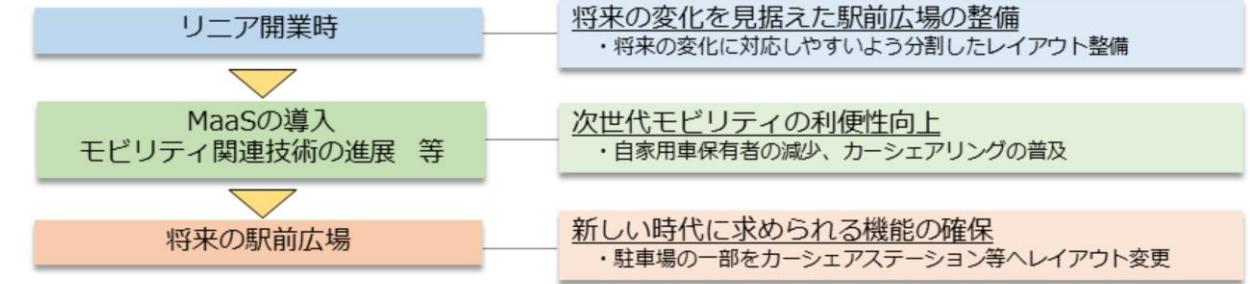


「将来の変化」を想定した駅前広場の整備

- ・リニア駅前広場は「将来の変化」に柔軟に対応できるように整備をしていく必要があります。
- ・北側の平面駐車場①や交通広場(黄色で示したエリア)は、今後の小型モビリティや自動運転化などの次世代モビリティの普及やMaaS等のシステムへの対応を見据えて整備します。

3 将来の変化にどう対応するの？（1）「将来の変化」を想定した駅前広場整備①

北側平面駐車場①

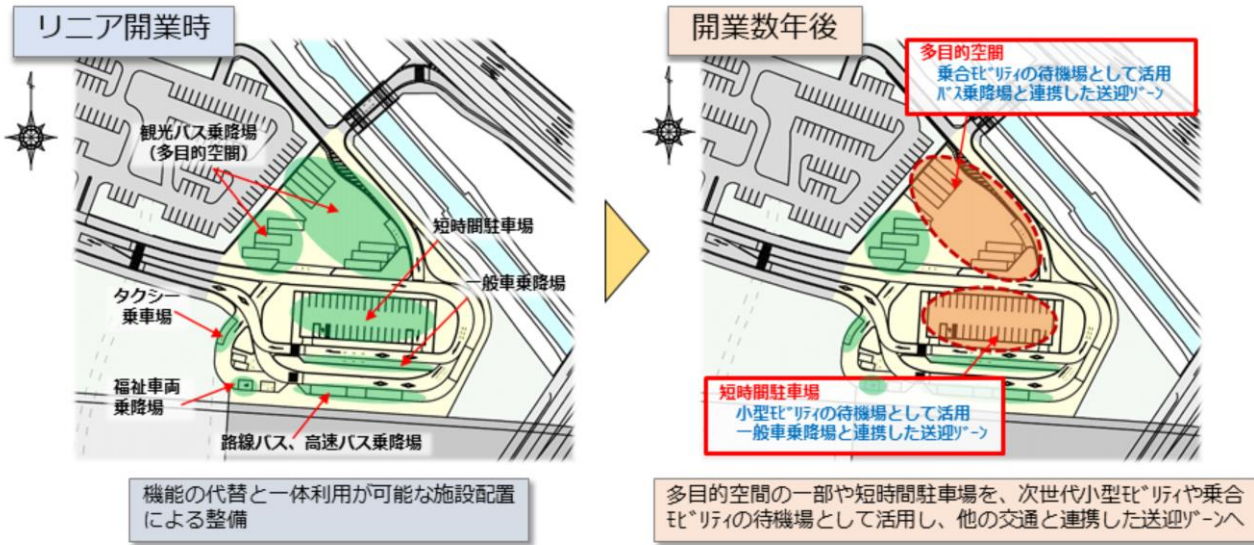
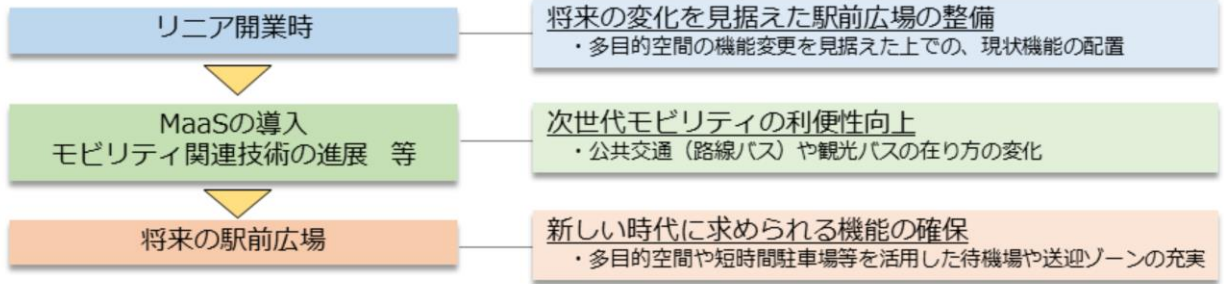


北側平面駐車場①

- ・開業当初から大きな区画割りとして整備せず、西側と東側にエリアを分割してレイアウトします。
- ・MaaSの導入や次世代モビリティの普及による自家用車保有者の減少、カーシェアリングが広まることによる駐車場利用台数の減少などが考えられますが、駐車場の一部をカーシェアリングの普及にあわせてカーシェアステーションにするなど、柔軟な対応ができるよう進めます。

3 将来の変化にどう対応するの？（1）「将来の変化」を想定した駅前広場整備②

交通広場



交通広場

- ・リニア開業時、多目的空間は路線バスや観光バスなどの待機所として、短時間駐車場はリニア利用者のお見送りをする人が駐車することを想定しています。
- ・MaaSの導入や次世代モビリティの進化に合わせて、多目的空間は乗合モビリティの待機所、短時間駐車場は小型モビリティの待機所として利用することを想定しています。
- ・待機所のみならず、乗合モビリティや小型モビリティから他の交通へとスムーズに乗り換えができる連携した送迎ゾーンへと、時代のニーズに合わせて変更可能なエリアとしていきます。

3 将来の変化にどう対応するの？ (2) 駐車場システムによる多目的利用①

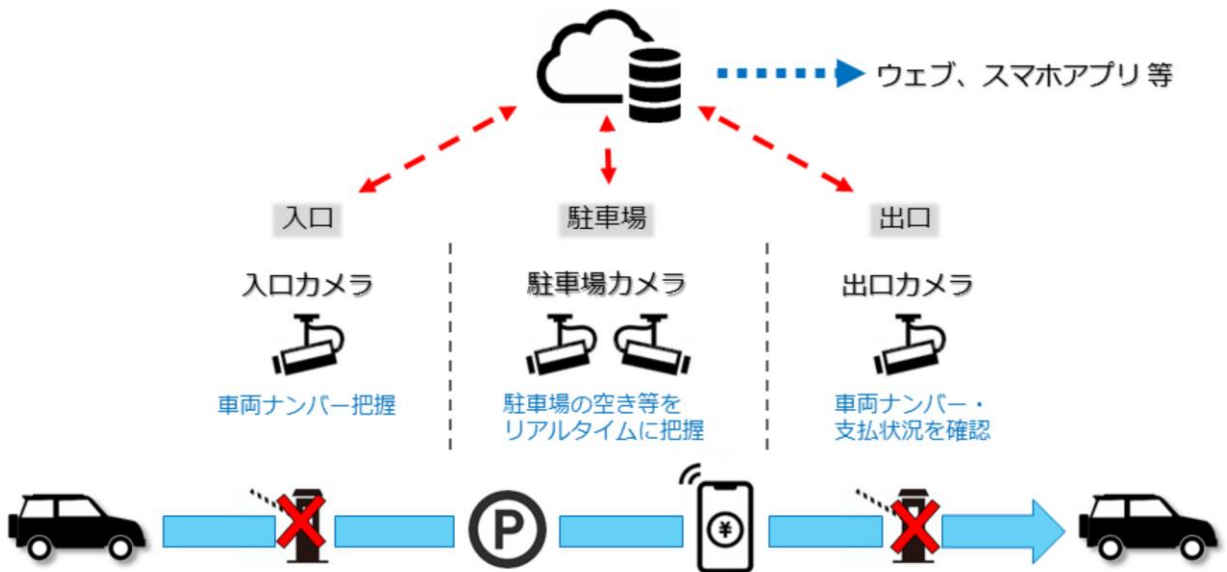
駐車場システムの概念

駐車場をより使いやすく、より安全に、よりスムーズに

- ・カメラシステムの導入 → 車両ナンバー認識による利便性の向上、防犯性の向上等
- ・スマホアプリとの連動 → 空き駐車場の検索、予約、キャッシュレス決済、MaaS連携等
- ・ゲートでの入出庫管理 → カメラと連動し開閉を自動化、停電や災害時等でも出庫が可能等

駐車場システムの検討案

クラウド（インターネット上のファイル保管場所）でのデータ管理



駐車場、駐車システム

- ・リニアの速達性を活かすため、「より使いやすく、より安全に、よりスムーズに」を目指して、「カメラシステムの導入」、「スマホアプリとの連動」、「ゲートでの入出庫管理」を検討しています。
- ・ゲートとカメラを連動させ、高速インターチェンジのETCのようにゲート開閉を自動化、さらに決済機能を連動することでよりスムーズな入出庫が可能となります。
- ・駐車状況のリアルタイムな情報発信、MaaSとの連携により、空き情報検索、予約やキャッシュレス決済を行うことも可能となります。
- ・監視カメラにより防犯面でも安心です。
- ・フラップ式のロック板を必要としないため、除雪作業や清掃作業などの維持管理も容易と考えられます。